

EMC

便り

自粛生活が続いていますが、ストレス溜めずに
元気に過ごしましょう!!!

*北区・都島区・福島区・中央区・城東区を中心に
訪問させていただいています!!

※24時間対応、ターミナル、精神疾患ケア、在宅リハビリのことなら

「EMC リハビリ訪問看護ステーション南森町」

ご連絡・ご相談などお気軽にお問い合わせください!!



06-6585-0086



2月号では新型コロナウイルスとインフルエンザの違いや対策を紹介したいと思います！！

●新型コロナ&インフルの共通点や違い

2019年末に発生してから瞬く間に世界中に広がり、現在もなお猛威をふるっている新型コロナウイルス。そんな中、インフルエンザの季節が今年もやってきました。両者は似ている点が多いのですが、いくつかの違いポイントを正しく知ることによってダブル流行期に備えた対策をしましょう！！

●感染力や症状はどう違うの？

それぞれの感染症について、症状やデータの表です。感染経路や症状など、共通点も多いですが、いくつか違うポイントがあります。

① **重症度の違い**

現状の感染者数はインフルの方が多いのものの、致死率と症状の持続期間を見ると、症状の重さはコロナが上回ることが分かります。

② **無症状率の高さ**

コロナは潜伏期間が長く、一部は無症状のまま治療しますが、無症状の時期にも強い感染力があります。症状が出てから感染のピークを迎えるインフルとは違い、コロナは、症状のない状態でも、既に多くの人にうつしている可能性が高いです。

●症状が出たらまずは検査を受けよう

インフルの流行期には発熱などの症状があった場合、コロナとインフルの両方を検査することが推奨されています。症状が出たら個人で判断するのではなくまずは近くの病院やクリニックへ受診しましょう。また、電話で症状を相談してから受診するのも良いでしょう。

●ダブル流行期だからこそ対策を徹底しよう

冬はコロナとインフル、両方の流行が予想されます。

- ・**コロナ対策**としては、引き続きマスクの着用、手洗い・うがい、アルコール消毒、密をさける、換気などを徹底しましょう。
- ・**インフルの対策**としてはコロナの対策がそのまま使えます。

万が一感染した場合に慌てないよう、感染したらどうするか前もって考えておきましょう。まず、かかりつけ医がある場合は、発熱等の症状が出現した場合の受診方法を確認しておきましょう。ない場合は、受診・相談センターの連絡方法を確認しておくとい良いでしょう。



新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの違い		
	新型コロナウイルス感染症	インフルエンザ
感染経路	飛沫、接触、飛沫核(空気) [※]	飛沫、接触、飛沫核(空気) [※]
国内での感染者数	約11万人 (2020年11月現在、累計)	約1000万人 (例年)
症状の持続期間	2~3週間	3~7日間
致死率	0.25~3%	0.1%
季節性	今のところなし	あり(1~2月がピーク)
潜伏期間	2~14日(平均5日)	1~4日(平均2日)
感染した場合の無症状率	数%~60%	10%
症状	発熱、咳、のどの痛み、倦怠感、頭痛、息切れ、嗅覚障害、味覚障害 など	発熱、咳、のどの痛み、倦怠感、頭痛、鼻水、関節痛、下痢(子どもに多い) など



ステーション受入れ状況

スタッフも増えており、受け入れ状況に余裕がございます！
訪問看護については臨機応変・柔軟なご対応が可能な状況です。

ご検討中の方は、お早めにご連絡ください